

令和三年度 高知市立南海中学校 卒業式 式辞

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

この日を迎えて、将来の決意や目標などを心に秘めている人も多いと思います。卒業式は、九年間の義務教育の修了を祝い、人生の一つの区切りとして、大人になる自覚を深めたり、誓いを立てたりする日です。また、今まで育ててもらったご両親や周りの人に改めて感謝するという機会でもあります。

さて、皆さんにとっての中学校三年間は新型コロナウイルスと向き合い続けた日々でした。思い返すと、皆さんは一年生の終わりから合わせて三か月もの間、自宅での学習となり、辛く長い時間を過ごしました。

そんな中でも、南海中学校での皆さんは、逆境に負けることなく、友達どうし認めあい、支えあい、学びあって、授業や学校行事に参加していました。

日程を短縮して開催した体育祭、文化発表会、修学旅行でしたが、限られた条件の中で、できる限り精一杯のことをし、また楽しもうとする皆さんの姿に、いつも驚かされ、感心させられました。

そのような辛く長い時間を過ごした皆さんだからこそ、家族や友達の大切さや、学校という場で当たり前の日常生活ができることのありがたさ、人とのつながりの尊さを知ることができたのではないかと思います。

実際、この一年間、授業や学級活動などで、友達と協力して頑張る姿やお互いに励まし合って最後までやり遂げようとする姿を幾度となく見せてもらいました。

三年一組の皆さん、一組はいつ行ってもお互いを支えあう優しい雰囲気を持ったクラスでした。合唱コンクールでの美しいハーモニーに感動しました。

三年二組の皆さん、二組はいつ行っても柔らかな雰囲気と自然と笑顔になるクラスでした。体育祭で見せてくれた笑顔と団結力、最高でした。

どちらのクラスでも、授業や学級活動でよく聴き、考え、お互いの考えを尊重しあう姿が見られました。皆さんは、これからの南海中学校がめざす姿を形にして表してくれました。その姿は、生命や人権学習など、南海中学校が大切にしてきた人間尊重の精神そのものです。相手や周りの人を大切にできる皆さんは、きっと将来の職場や社会でも大切にされ、なくてはならない存在になると思います。

今日、この南海中学校を巣立つ皆さんに、二つお願いがあります。

日本に住む以上、地震や津波はいつ起こってもおかしくありません。皆さんは、この三年間の南海中での防災活動を通じて、命の大切さと地震発生時の対応方法などを学びました。この先、進学した高等学校や進路先で、周りの人のために率先して行動し、どんな状況下でも考える最良の方法を選択できる人になってほしいと思います。自分自身、家族、大切な人を守るよう、どんなときも最善を尽くしてください。

もう一つ。私たちの南海中学校は、この三月に創立七十五周年を迎えます。二十五年後には百周年です。そのとき、皆さんはちょうど四十歳、子育て世代でもあり、社会の中心的な役割をしていると思います。そんな皆さん、この南海中学校とこの地域を愛し、ずっと大切にしてください。応援してください。将来、この地域を離れるようになったとしても、いつまでも忘れられない故郷として、心の中で大切にしてほしいと思います。どうかよろしく願います。

保護者の皆様、お子様のご卒業、そして義務教育の修了おめでとうございます。十五年間という年月を振り返ると、様々な思い出や熱い想いが去来するのではないかと存じます。南海中学校で学んだ子どもたちは、この三年間でたくましさやさしさ、そしてしなやかさを兼ね備えた若者に成長しています。これも保護者の皆様が学校に信頼を寄せていただき、ともに手を携えて子どもたちの成長を温かく見守ってくださったおかげです。ご協力ありがとうございました。

お子様が、健やかで、さらにやさしく思いやりがある人に育ち、周りの人や社会を明るく照らす存在となりますよう、心から祈念しております。

令和四年三月十一日 高知市立南海中学校 校長 廣瀬 啓二